

## ウラジオストク滞在に関する報告について（10月分）

### 1. ロシア語学校について

---

9月は新たな留学生の方の受け入れや、外国語学部のルースキー島への引っ越しで大学内は慌ただしい様子でしたが、10月に入ってから学生もある程度生活に慣れはじめ、普段の落ち着きを取り戻しています。留学生がたくさん入ってきたので時間割や担当の先生が調整され、時間割も週ごとに変更がありました。10月中旬になると時間割もほぼ定まり、今後は大きな変更なく授業が行われていきそうです。

### 2. ウラジオストク市内の状況について

---

#### ・治安状況

当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

#### ・気 候

10月のウラジオストクの夜はかなり冷え込んでいます。10月下旬になると日中でも気温が低く、気温も5度を下回るので通りではコートが必須となります。ただ、室内ではセントラルヒーティングが機能し始めたので、基本的に暖かく過ごせます。ロシアのセントラルヒーティングでは室内にパイプを通し、そこに温水を流すことで室温を上げています。このシステムは建物で一括して管理しているため各部屋で温度調整などはできません。室内では厚着をしているとかなり暑くなるので、脱ぎ着しやすい服装が必要です。

### 3. ウラジオストク内の行事について

---

#### ●沿海地方政府 生誕80周年について（10月20日）

10月20日は沿海地方政府が正式に成立から80周年の記念日であり、市内ではパレードが行われました。ウラジオストクは旧ソ連時代には「沿海州」として統治されていましたが、1938年に国の政策により沿海州は今のハバロフスク地方と沿海地方に分けられました。

沿海地方はロシア語では沿海「プリモルスキー・クライ」と言います。プリモルスキーは「沿海地、海岸地」を意味するプリモーリエ（Приморье）から来ており、クライ（Край）は「地方」と訳されるロシアの地方行政区分となります。

パレードは市内の中央広場で行われ、ロシアの有名音楽グループや、地元の学校の子供たちが舞台上で様々な発表したり、ウラジオストクの名産品等の露店が出ており、盛り上がりを見せていました。



(写真1：ウラジオストク学生による出し物)

●倉吉絣展覧会 in ウラジオストク

沿海地方美術館で日本最初の木綿の絵絣である鳥取県の「倉吉絣」の展示会が行われました。ここでは主に40点程の作品が展示され、折り体験や染め体験、着付け体験なども実施され、日本の伝統にロシア人も興味を持って見ていました。



(写真2：倉吉絣の説明風景)